

東京大学先端科学技術研究センター所長兼教授 神崎亮平氏 講演会
「ファール昆虫記のなぞに挑む」
～カイコガの能力を再現した匂い源探索ロボットをつくる～

山鹿市が推進する「SILK on VALLEY YAMAGA」プロジェクトの一環で、やまが新シルク蚕業構想推進協議会主催の上記講演会に、本校生徒約200名が参加しました。

御講演を通じて、高校生がカイコ等を用いた最先端技術に触れ、豊かな見識を持つだけでなく、今後の進路の選択肢の一つになること（引いては山鹿市で養蚕関係の職につくような人材を育成すること）を目的として実施されました。



～生徒感想～

- 昆虫のすごさ、カイコのすごさを知ることができました。昆虫は環境を検知する独自の優れた感覚や知能的行動ができる「脳」を持っていて、小さな脳で人間にできないことができるなんて凄いと思いました。「昆虫警察官」はすごい発想で興味深かったです。
- 先端科学技術センターという存在を初めて知って、その中には文系から理系、さらには福祉まで様々な分野の最先端が集まり、そこで日々研究が続けられているという事を聞いて、自分の世界観がすごく広がりました。
- 一番印象に残ったのは、物事を考える時に様々な事を関連付けながら考えるということです。今まで授業などで〇〇と△△はつながっている、同じ考え方だと考えたことはありませんでした。点と点で終わらせてしまうと勿体ない事を知ったので、これからは思考回路を巡らせて、様々な視点から問題を解決していけるようになりたいと思います。

「カイコガをはじめとする昆虫の可能性」「研究の面白さ」「発想のヒントや思考の在り方」等、参加した本校生徒は、神崎先生から多くの事を学ぶことができました。また、神崎先生の言葉「生きていく中で自分を信じ、自信を持つこと」は、思春期を生きる高校生にとって、大変力強いエールとなりました。